



2025年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社ダイレクトマーケティングミックス 上場取引所 東
コード番号 7354 URL <https://dmix.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表執行役社長CEO (氏名) 植原 大祐
問合せ先責任者 (役職名) 執行役CFO (氏名) 土井 元良 TEL 06 (6809) 1615
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	5,985	0.7	747	△4.7	736	△4.8	463	1.7	463	1.7	464	0.8
2024年12月期第1四半期	5,945	△31.6	784	△52.0	774	△52.4	455	△57.6	455	△57.6	460	△57.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	10.00	9.91
2024年12月期第1四半期	9.90	9.80

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	25,697	14,020	14,020	54.6
2024年12月期	24,968	13,756	13,756	55.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	4.50	4.50
2025年12月期	—				
2025年12月期（予想）		0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	5.0	1,800	25.5	1,750	25.8	1,100	31.8	1,100	31.8	23.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	47,521,136株	2024年12月期	47,521,136株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	1,180,619株	2024年12月期	1,171,739株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	46,343,477株	2024年12月期 1 Q	45,986,240株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報)	11

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における日本経済を取り巻く環境は、経済活動の正常化が進んでいることから緩やかな景気回復の動きがみられました。しかしながら、国際的な情勢不安の長期化や、物価上昇、供給面の制約による影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

当業界においては、アウトソーシング需要や、生活様式の変化及びDXの推進を背景とした新たなサービスへのニーズが増加しています。

こうした環境のもと、当社グループは、コロナ禍においては新型コロナウイルスワクチン接種関連業務の受託等、社会インフラとしての一翼を担ってきましたが、経済社会活動の正常化に伴いこうした需要は著しく縮小しました。また、これらの需要が縮小したことによりインバウンドビジネス全体の競争が激化し、足元でも当社の収益性に大きな影響を及ぼす状況が継続しています。一方で、通信インフラセクターからのアウトバウンド／ハイブリッドの業務受託は堅調に推移したほか、サービス展開が進むライドシェア分野などDXフルフィルメント領域の開拓も進みました。

加えて、成長戦略を推進するため、既存顧客の深耕や新規顧客の開拓に注力したほか、採算性の向上や低採算業務の見直しなどにより収益力アップに努めてきました。さらに、競争力の源泉である優秀な人材の確保、育成を図るため、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を勘案した多様な勤務体系やオフィス環境の改善、独自の教育体制・評価体系の構築等、従業員が活躍できる環境づくりを進め、働きがいのある企業風土の醸成に取り組んでいます。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益は5,985百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は747百万円（前年同期比4.7%減）、税引前四半期利益は736百万円（前年同期比4.8%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は463百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりです。

（マーケティング事業）

新型コロナウイルスワクチン接種関連の需要が著しく縮小したことによりインバウンドビジネス全体の競争が激化し、足元でも当社の収益性に大きな影響を及ぼす状況が継続しています。一方、既存顧客や新規顧客へ向けたアウトバウンド／ハイブリッドの業務受託が堅調に推移したほか、サービス展開が進むライドシェア分野などDXフルフィルメント領域の開拓も進みました。

この結果、マーケティング事業の売上収益は5,561百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は976百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

（オンサイト事業）

収益性を重視した戦略を推し進めていますが、新型コロナウイルスワクチン接種関連の需要等が大きく縮小したことにより人材派遣ニーズは低調に推移しています。

この結果、オンサイト事業の売上収益は638百万円（前年同期比17.8%減）、営業利益は29百万円（前年同期比48.5%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

① 資産、負債及び資本の状況

	前連結会計年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減額 (百万円)
資産合計	24,968	25,697	729
負債合計	11,212	11,677	465
資本合計	13,756	14,020	264
資本（親会社の所有者に帰属する持分）	13,756	14,020	264

（資産の分析）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、25,697百万円となりました（前連結会計年度末は24,968百万円）。これは主に、営業債権及びその他の債権が908百万円増加した一方、現金及び現金同等物が121百万円減少したこと等によるものです。

（負債の分析）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、11,677百万円となりました（前連結会計年度末は11,212百万円）。これは主に、営業債務及びその他の債務が640百万円及びその他の流動負債が107百万円それぞれ増加した一方、借入金が289百万円減少したこと等によるものです。

（資本の分析）

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、14,020百万円となりました（前連結会計年度末は13,756百万円）。これは主に、利益剰余金が255百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ121百万円減少し、5,047百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、655百万円となりました（前年同期は126百万円の支出）。これは主に、税引前四半期利益が736百万円、減価償却費及び償却費が311百万円の計上、営業債権及びその他の債権の増加が907百万円、営業債務及びその他の債務の増加が623百万円及び法人所得税の支払額が218百万円それぞれ生じたこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、36百万円となりました（前年同期は79百万円の収入）。これは主に、有形固定資産の取得による支出が22百万円、資産除去債務の履行による支出が74百万円及び敷金及び保証金の回収による収入が68百万円それぞれ生じたこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、739百万円となりました（前年同期は651百万円の支出）。これは、長期借入金の返済による支出が288百万円、配当金の支払額が209百万円及びリース負債の返済による支出が243百万円それぞれ生じたことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は概ね計画どおりに推移しており、2025年2月14日に公表した通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,167,540	5,047,039
営業債権及びその他の債権	2,615,125	3,523,218
その他の流動資産	518,697	469,184
流動資産合計	8,301,362	9,039,441
非流動資産		
有形固定資産	1,096,713	1,127,942
使用権資産	1,914,276	1,949,939
のれん	11,390,547	11,390,547
その他の無形資産	634,310	619,992
繰延税金資産	285,753	290,569
その他の金融資産	1,326,778	1,268,313
その他の非流動資産	18,550	10,055
非流動資産合計	16,666,926	16,657,357
資産合計	24,968,289	25,696,799

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,097,898	2,737,569
借入金	2,147,344	2,146,250
引当金	79,995	—
未払法人所得税	215,258	276,724
その他の金融負債	847,903	857,850
その他の流動負債	725,684	832,560
流動負債合計	6,114,083	6,850,953
非流動負債		
借入金	3,623,455	3,335,464
引当金	479,524	480,385
その他の金融負債	991,742	1,006,921
その他の非流動負債	3,013	2,995
非流動負債合計	5,097,734	4,825,765
負債合計	11,211,816	11,676,718
資本		
資本金	2,232,348	2,232,348
資本剰余金	2,092,782	2,101,189
利益剰余金	11,612,883	11,867,673
自己株式	△1,963,072	△1,963,072
その他の資本の構成要素	△218,468	△218,056
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,756,472	14,020,081
資本合計	13,756,472	14,020,081
負債及び資本合計	24,968,289	25,696,799

（2）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

（要約四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
売上収益	5,944,943	5,985,041
営業費用	△5,178,042	△5,237,954
その他の収益	18,994	10,447
その他の費用	△2,226	△10,678
営業利益	783,671	746,855
金融収益	1,029	3,213
金融費用	△11,130	△13,631
税引前四半期利益	773,570	736,438
法人所得税費用	△318,113	△273,075
四半期利益	455,457	463,363
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	455,457	463,363
四半期利益	455,457	463,363
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	9.90	10.00
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	9.80	9.91

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期利益	455,457	463,363
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	4,757	412
純損益に振り替えられることのない 項目合計	4,757	412
その他の包括利益合計	4,757	412
四半期包括利益	460,214	463,775
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	460,214	463,775
四半期包括利益	460,214	463,775

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2024年1月1日現在	2,184,626	2,124,374	10,916,546	△2,000,457
四半期利益	—	—	455,457	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	455,457	—
新株予約権の増減	—	—	—	—
譲渡制限付株式報酬	—	21,674	—	—
剰余金の配当	—	—	△137,959	—
所有者との取引等合計	—	21,674	△137,959	—
2024年3月31日現在	2,184,626	2,146,047	11,234,044	△2,000,457

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者 に帰属する持分 合計	資本合計
	新株予約権	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産	合計		
2024年1月1日現在	31,530	△171,514	△139,985	13,085,104	13,085,104
四半期利益	—	—	—	455,457	455,457
その他の包括利益	—	4,757	4,757	4,757	4,757
四半期包括利益合計	—	4,757	4,757	460,214	460,214
新株予約権の増減	703	—	703	703	703
譲渡制限付株式報酬	—	—	—	21,674	21,674
剰余金の配当	—	—	—	△137,959	△137,959
所有者との取引等合計	703	—	703	△115,582	△115,582
2024年3月31日現在	32,233	△166,758	△134,524	13,429,736	13,429,736

当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2025年1月1日現在	2,232,348	2,092,782	11,612,883	△1,963,072
四半期利益	—	—	463,363	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	463,363	—
新株予約権の増減	—	—	—	—
譲渡制限付株式報酬	—	8,407	—	—
剰余金の配当	—	—	△208,573	—
所有者との取引等合計	—	8,407	△208,573	—
2025年3月31日現在	2,232,348	2,101,189	11,867,673	△1,963,072

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者 に帰属する持分 合計	資本合計
	新株予約権	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産	合計		
2025年1月1日現在	31,789	△250,258	△218,468	13,756,472	13,756,472
四半期利益	—	—	—	463,363	463,363
その他の包括利益	—	412	412	412	412
四半期包括利益合計	—	412	412	463,775	463,775
新株予約権の増減	—	—	—	—	—
譲渡制限付株式報酬	—	—	—	8,407	8,407
剰余金の配当	—	—	—	△208,573	△208,573
所有者との取引等合計	—	—	—	△200,166	△200,166
2025年3月31日現在	31,789	△249,845	△218,056	14,020,081	14,020,081

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	773,570	736,438
減価償却費及び償却費	366,678	310,930
固定資産除売却損	—	172
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△412	509
金融収益	△1,029	△3,213
金融費用	11,130	13,631
株式報酬費用	26,823	8,407
有給休暇引当金	△72,330	△14,804
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△691,079	△906,962
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△81,874	622,538
賞与引当金の増減額（△は減少）	144,732	112,103
その他	△411,193	3,586
小計	65,016	883,333
利息の受取額	24	2,323
利息の支払額	△6,283	△12,419
法人所得税の支払額又は還付額（△は支払）	△185,010	△218,246
営業活動によるキャッシュ・フロー	△126,253	654,991
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,832	△21,879
資産除去債務の履行による支出	—	△73,700
敷金及び保証金の差入による支出	—	△8,937
敷金及び保証金の回収による収入	93,562	68,169
その他	5,924	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	78,653	△36,327
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△225,001	△287,501
配当金の支払額	△137,959	△208,573
リース負債の返済による支出	△287,705	△243,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	△650,665	△739,165
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△698,265	△120,501
現金及び現金同等物の期首残高	4,458,722	5,167,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,760,456	5,047,039

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第1四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示していた「敷金及び保証金の回収による収入」は金額的重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結財務諸表の組み替えを行っています。

この結果、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた99,485千円は、「敷金及び保証金の回収による収入」93,562千円、「その他」5,924千円として組み替えています。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「マーケティング事業」、「オンサイト事業」の2つを報告セグメントとしています。

なお、報告セグメントを形成していない事業セグメント及び集約した事業セグメントはありません。

「マーケティング事業」においては、主に以下の事業を行っています。

① ダイレクトマーケティング

自社で運営するコンタクトセンターにおける当社グループのコミュニケーター（顧客企業のエンドユーザーとダイレクトマーケティングチャネルを通じた直接の対話を行う当社の人材）による電話コンタクト、直接訪問、Webコンタクト等のチャネルを通じて、顧客企業に代わってエンドユーザーに対し商品・サービスのセールス、訪問のためのアポイントの獲得等を行っています。取扱商品・サービスの具体例として、当社の主要ターゲット市場のひとつである通信インフラセクターにおいては通信回線（固定通信、移動通信）や通信端末、その他付随サービスのセールス等を行っています。また、DX進展の中で登場している多様なサービス事業者の営業・マーケティング機能を担うことで、新たなデジタルサービスの社会実装にも貢献しています。

② コンサルティング

ダイレクトマーケティングを通じて蓄積した情報資産を活用し、顧客企業の課題や目的に合わせた営業・マーケティング戦略について、戦略及び計画の策定からシステムの構築、実際の運用に至るまで多岐にわたるコンサルティングを実施しています。また、コンタクトセンターの運用や商品開発に関する助言、営業部門の人員に対する研修、市場調査など幅広いサービスの提供も行っています。

③ ビジネス・プロセス・アウトソーシング（BPO）

顧客企業の営業・マーケティング活動に関連する付随業務や、インバウンド型のコールセンター（カスタマーセンターなどエンドユーザーからの受電等を行うコールセンター）、事務作業など、自社で抱えているコストや工数がかかる業務の一括代行により、煩雑な作業の省力化・簡素化をサポートする業務を行っています。具体例として、エンドユーザーと顧客企業間での契約締結事務等の代行や、ダイレクトメール等のプロモーションメディアにかかる業務代行等を実施しています。また、金融機関や地方自治体を含む様々なクライアントのカスタマーサービスやオンライン窓口等の受託、医療分野等における有資格者による専門BPOセンターなど、各方面へのサービス拡充に注力しています。

(注) プロモーションメディアはマスメディア、インターネットを除く他メディアを指します。

「オンサイト事業」においては、人材派遣事業として、顧客企業の営業・マーケティング部門のほか、当社グループ企業のマーケティング事業向けにコミュニケーター等の派遣を行っています。

「調整額」には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用には管理・監督を行う当社（持株会社(株)ダイレクトマーケティングミックス）の費用が含まれています。

(2) 報告セグメントに関する情報

セグメント間の取引は、市場実勢（第三者取引）価格に基づいています。

なお、財務費用などの営業損益に帰属しない損益は報告セグメントごとに管理していないため、これらの収益又は費用はセグメントの業績から除外しています。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

	マーケティング事業	オンサイト事業	調整額 (注) 1	(単位：千円) 連結
売上収益				
外部収益	5,345,493	599,450	—	5,944,943
セグメント間収益	—	176,226	△176,226	—
売上収益合計	5,345,493	775,677	△176,226	5,944,943
セグメント利益（注） 2	989,628	19,428	△225,386	783,671
その他の損益				
減価償却費及び償却費	359,785	3,235	3,657	366,678
金融収益	876	1	152	1,029
金融費用	△2,454	△212	△8,464	△11,130
報告セグメントの税引前四半期利益	988,050	19,218	△233,698	773,570

(注) 1. セグメント利益の調整額△225,386千円には、セグメント間取引消去21,150千円及び報告セグメントに帰属しない営業費用△260,994千円が含まれています。

2. セグメント利益は営業利益で表示しています。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

	マーケティング事業	オンサイト事業	調整額 (注) 1	(単位：千円) 連結
売上収益				
外部収益	5,560,758	424,283	—	5,985,041
セグメント間収益	—	213,246	△213,246	—
売上収益合計	5,560,758	637,529	△213,246	5,985,041
セグメント利益（注） 2	975,686	28,860	△257,692	746,855
その他の損益				
減価償却費及び償却費	304,968	2,209	3,752	310,930
金融収益	2,332	39	842	3,213
金融費用	△2,795	△181	△10,654	△13,631
報告セグメントの税引前四半期利益	975,223	28,718	△267,503	736,438

(注) 1. セグメント利益の調整額△257,692千円には、セグメント間取引消去18,778千円及び報告セグメントに帰属しない営業費用△270,383千円が含まれています。

2. セグメント利益は営業利益で表示しています。